



「Catch Ball キャッチボール」

～地域に開かれた農場を目指して～

住所：〒014-0054 大仙市大曲金谷町 26-9
 電話番号：0187-63-2257・Fax 0187-62-3434(大嶋農場:Fax 兼用 0187-68-2381)
 URL：<http://www.daino-h.akita-pref.ed.jp>
 *農場便りに関するお問い合わせ農場経営部までご連絡下さい。

◆農場長(鋤納め)より

春の農作業の始まりの時には「鋤おろし」を行いました。そして田植え後には「さなぶり」、秋には大地の恵み感謝しながらの「収穫祭」。農作業には一つ一つに区切りに何かしらの政があります。今、初雪がちらつき農作業も一段落。「鋤納め」の時期となりました。今年の労をねぎらうとともに安全な作業への感謝、そして来年に向けての英気を養うためのものです。一年間ご苦労様でした。

◆施設野菜部門より

ハウス内ではホウレンソウなどの葉菜類の栽培をしています。9月の大風で破れたビニルハウスの屋根部分の張り替え作業が4人がかりで半日かけて行われました。

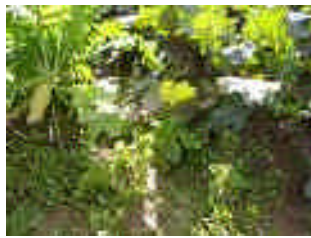


◆露地野菜部門より

長ネギの収穫が最盛期を迎えています。実習において生徒は農具を使わず、中腰になり一株一株ていねいに土から掘り起こします。収穫した大量のネギは軽トラに積んで野菜収納室に運び、土を払って乾燥させます。ただいま収納室はネギの香りでいっぱいです！



2年の野菜専攻生は課題研究で総太り、赤色、聖護院(丸形)の3品種のダイコンを栽培し、「砂糖」を施した場合の生育や食味の違い等を研究しています。甘くフルーツのようなダイコンなのでしょうか？



◆水田部門より

来年度使用する床土をふるいに掛ける作業がスタートし、早くも平成二十五年度の種まきに向けた準備が始まっています。細かくサラサラの土だけに、地味ながらも重要な作業が続きます…。

◆花卉部門より

今、シクラメン、葉ボタンの販売を行っています。先日、十一月十八日(日)にはふるさと村で草花部門を選択している生徒達が学校の農産物販売に行ってきた。あいにくのお天気でしたが、大勢のお客さんに大農の農産物と大農生のすばらしさをしっかりアピールしてきました。



◆果樹部門より

十一月十六日(金)大曲中央保育園年長さん五十名が本校農場を散歩にきました。ちようど果樹園にはリンゴ「ふじ」が収穫時期だったので、収穫体験と園内散歩を保育分野を勉強しているお姉さんたちと一緒にを行いました。将来の大農生(?)お待ちしています。



◆食品加工部門より

十一月十七日（土）十八日（日）に行われた「全国農業高等学校収穫祭2012」に食品加工部員三名が参加し、ぶどう液・いちごジャム・ぶどうジャム・りんごジャム・オレンジマーマレードを販売してきました。全国から五一校が参加しました。大農の食品加工品は完売となりました。

また、「創立120周年」のパネルを作り大農をアピールしました。秋田県・大仙市・大曲出身の方々より、たくさんの方の激励の言葉をいただき、感激してまいりました。参加した生徒は、この貴重な体験を今後の生活に行かして生きたいと気持ちを新たにしています。

雪が降り寒くなりました。加工室では、暖房を切り、肉類の加工実習が今月末より始まります。寒い中、鶏の内臓を取り除き血絞り、漬け込み、ボイル、乾燥、くん煙真空包装し、あの懐かしい「大農スモークチキン」が製造されます。



◆中家畜部門より

①. 十一月十一日（日）に無事十三頭の子豚が分娩しました。愛らしい子豚を見て実習の合間にも癒されて下さい。

②. 十一月十三日（火）に本校の肥育豚を秋田県食肉流通公社へ出荷しました。次年度以降、大農の豚肉が秋田市内や大仙市内等で販売される予定です。生徒たちが日頃愛情を込めて育てている豚の肉が店頭に並ぶことになるよう引き続き尽力します。その第一歩を今回は踏み出しました。キーワードは「地産地消」「地元還元」「六次産業化の実現」です。詳細は後ほど。

③. 豚舎の糞尿を堆肥盤へ運ぶスクリーンが新しくなりました。交換される間、一生懸命糞尿にまみれ、除糞してくれた生徒の皆さん。ありがとうございました。

◆大家畜部門より

二回目の削蹄を近日行います。ウシは分類学ではクジラ偶蹄目に分類される、つま先が二つに分かれた蹄（ひづめ）をもつ動物です。蹄が長いと歩行がしづらくなってしま

◆小家畜部門より

来年度の更新に向けて、鶏舎内の整理をしています。使用していないゲージを取り外し、その中から比較的良いものを選んで、いよいよ駄目になったものと交換する予定です。少しでも環境を調べて、気持ちよく卵を産んでもらいたいと考えています。生徒と協力しながら地道に頑張っています。

ゝ編集後記ゝ

昨日、文化部運動部の賞状伝達式が行われました。たくさんの方が名前を呼ばれておりました。これも日々の生徒一人一人の努力の賜と言えます。おめでとうございます！大会で結果を出せるという事は非常に素晴らしい事であり、難しい事です。

ただ、これだけは忘れないで下さい。
どんな競技やコンクールにしろ、自分一人では何も生まれません。何も残せません。自分が光り輝くにはたくさんの裏方に徹する人達がいるから何だぞという気持ちを。

先輩は後輩に感謝し、後輩はそんな先輩を目標にする。どこで伝わる何かがあるはず。心や気持ちの伝承こそが、人間関係の基本です。ありがとうございました！の気持ちを伝えてみるのもいいかもしれません。



◆生物工学部門より

十二月を迎えかなり寒くなりましたが、本格的な冬はまだのようです。主に熱帯から亜熱帯に原産をもつ洋ランは冬の温度管理が重要です。コチョウランは特に寒さに弱いので気を遣います。温室の一部のコチョウランを生物工学第一実験室の培養槽に移し開花の促進をしています。シンビジウムではいよいよ花芽がはつきりとしてきました。どんな花を咲かせてくれるのかとても楽しみです。

いますので、年に二回削蹄を行います。寒くなると蹄が固くなってしまふので本格的に雪が降る前に行います。間もなく期末テストですね、つめが甘いと言われないように日々精進しましょう。能あるウシはツメを切る・・・でした。